

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準 | 評価方法 | 資料および指導・援助 |
|---|---|---|---|--|---|
| 1 | 世界の国々の名称に関する既得知識の調査を通して、国名知識を身に付けることへの意欲をもつことができる。 | <p>1 旅行会社のパンフレットを見て、行ってみたい国を挙げてみる。 《単元を貫く課題》</p> <p>世界一周旅行を計画しよう。</p> <p>2 知っている国の名称を書き出し、発表し合う。 書いた名称が国名かどうかを確かめよう。</p> <p>3 国名でなかった名称を州名・都市名・地域名などに分類する。</p> <p>4 世界の国の数と国が成り立つ三要素について知る。</p> <p>5 本時のまとめをするとともに、国名知識を身に付ける目標を設定する。</p> | 《ア-》 知っている国の名称を意欲的に書き出し、国名知識を身に付ける目標を立てている。 | 記述内容 既得の国名知識の量や各自が設定した目標から、国名についての関心や意欲を分析する。 | <p>「旅行会社のパンフレット」</p> <p>「50音順の国名一覧」</p> <p>「国が国として成り立つ3要素(教科書)」</p> <p>「東ティモール独立の記事」(中日新聞)</p> <p>国名知識を身に付ける目標や方法については、個人差に配慮し、量的な調整をした上で設定させる。</p> |
| | | <p>世界には192もの国があるなんてびっくりした。まだ自分の知らない国がたくさんあったので、どんな国があるのか調べて、知っている国を50くらいに増やしたい。国名だと思っていたバリはフランスという国の都市名だったし、ヨーロッパというのはフランスやドイツといった国々が集まった州名だった。世界の国々はいくつの州に分けられているのだろうか。また、日本は何州に属しているのだろうか。</p> | | | |
| 2 | 世界の国々を6つの地域に区分する作業を通して、現代世界が6つの州に分けてとらえていることを、それぞれに属する主な国の位置を地図上で理解することができる。 | <p>1 6つの州の名称を知る。 世界の国々を6つの地域に区分してみよう。</p> <p>2 自分なりに世界を6つの地域に区分する。</p> <p>3 世界の州区分やアジア州の地域区分を調べ、白地図上に区分して表す。</p> <p>4 地図帳で自分の知っている国の位置を調べ、白地図上に名称を記入しながら、どの州に属しているか確かめる。</p> <p>5 知っている国が少なかった州や位置が不確かだった国、新たに知った国についてもふれながら、本時のまとめをする。</p> | 《エ-》 6つの州の名称と位置及び、知っている国の位置について理解し、その知識を身に付けている。 | 白地図への記述 6つの州の区分や、各州に属する国の位置が正しく記述されているかを分析する。 | <p>「世界の大陸区分」</p> <p>「世界の州区分」</p> <p>「アジア州の区分」</p> <p>(以上、教科書)</p> <p>特に、名称だけ知っていた国や位置が不確かだった国を身に付けるよう助言する。</p> |
| | | <p>世界は6つの州に分けられる。日本はそのうちのアジア州の中の東アジアに属している。ヨーロッパ州にある国の名前はよく知っていたけれど位置があいまいだったし、アフリカ州やオセアニア州には知らない国が多かったから、国の名前とともに位置も確かにしていきたい。世界の州区分は大陸区分とだいたい同じになっているけれど、国と国の境界はどのように決められているのだろうか。</p> | | | |
| 3 | 国境にはいろいろな種類があることに関心をもち、地図帳や地球儀、資料を使って調べ、様々な国境の画定のされ方によって世界の国々が構成されていることを理解することができる。 | <p>1 国と国を分けている国境線の種類を調べる。 ・国境には、曲がった線の他に、直線や破線で引かれているところもある。 ・国の中にもう一つの国があるところもある。 国境はどのように引かれているのだろうか。</p> <p>2 いくつかの国境の地物を指摘し合う。</p> <p>3 直線や破線で引かれた国境がある理由を推察したり、資料をもとに調べたりする。</p> <p>4 島国や内陸国、国の中にある小国を調べる。</p> <p>5 新たに知った国や行ってみたい国についてもふれながら、本時のまとめをする。</p> | 《イ-》 国境がどのように引かれているかについて推察したり、地図帳や資料をもとに考察したりしている。 | 発言内容 地図帳や資料から多面的・多角的に国境の画定のされ方について考察しているかを分析する。 | <p>「アルプス山脈、メコン川、アメリカとカナダの国境の写真」(資料集)</p> <p>「アフリカの独立国」(地図帳)</p> <p>「カシミール紛争の記事」(中日新聞)</p> <p>直線や波線で引かれた国境について、様々な角度から推察するよう助言する。</p> |
| | | <p>世界の国々には、山や川、海や湖などの自然が国境となっている国や、緯線や経線などを利用して人によって区分された国がある。緯線や経線などを利用した国境は植民地支配されていたアフリカ大陸に多く見られる。また、国境紛争によって国境がまだ画定されていないところもあり、世界には様々な国があることがわかってきた。もっといろいろな角度から、世界の国々の特徴を調べてみたい。</p> | | | |

| 時 | ねらい | 学習活動 | 評価規準 | 評価方法 | 資料および指導・援助 |
|---------------------|---|---|--|---|---|
| 4・5 いろいろな国を探そう | <p>国名や国の形、面積などに着目した活動を通して、様々な国の位置と名称に親しみ、国名知識を増やしていくことができる。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 エクアドルの意味を英和辞典で調べる。国の形を見て、何に似ているか発表し合う。面積が最小の国、人口が最大の国を調べる。 2 調べてみたいテーマを発表し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">テーマを決めて、いろいろな国を探そう。</div> 2 追究テーマを決め、グループをつくる。 ・国名の由来・国名の似た国・赤道が通る国 ・国旗の似た国・形に特徴のある国 ・面積の大きい国、小さい国ベスト10 ・人口の多い国、少ない国ベスト10 など 3 グループごとに追究し、発表し合う。 4 新たに知った国や行ってみたい国についてふれながら、本時のまとめをする。 | <p>《ウ-》 統計資料を適切に活用しながら課題について追究している。</p> <p>《イ-》 国の名称や国の特徴について多面的・多角的に考察している。</p> | <p>追究の様子 資料を適切に活用しながら追求しているかを分析する。</p> <p>記述内容 主な国について多様な視点から調べているかを分析する。</p> | <p>「国名の由来」 (資料集) 「国の形のシルエット」 「世界の国別統計」 (地図帳) 面積や人口については共通して調べように指示し、統計資料の活用のし方について指導する。 国名知識を身に付ける目標については、進度に応じて量的な調整をするよう助言する。</p> |
| | | <p>どの国名にも、人物名や地形名などといった由来があって、由来を知っていると、名前や位置なども覚えやすい。また、形の特徴や面積の大きさなどを知っていると、国の位置を探しやすい。国の中に小さな国があるイタリアに行って、世界で一番小さいバチカン市国を見てみたい。私は世界遺産の見学ツアーを企画してみたいから、まず、世界の略地図をえがけるようにしたい。</p> | | | |
| 6 世界の略地図をえがいてみよう | <p>赤道や本初子午線などに留意しつつ、大陸の形状や位置関係がわかる程度の世界の略地図を描くことができる。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 地図を見ないで世界の略地図を描いてみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分らしい世界の略地図の描き方を工夫して身に付けよう。</div> 2 太いマジックで海岸線をなぞる作業を行う。 3 どこから描き始めるか、さらにどのように略すかなど、自分らしい描き方を工夫する。 4 略地図を描くときに注意するポイントを確認する。 5 赤道や本初子午線、大陸と大陸との位置関係に注意して、自分なりの略地図を描く。 6 略地図を描く時のポイントと工夫した点についてふれながら、本時のまとめをする。 | <p>《ウ-》 自分なりの描き方を工夫しながら大陸の形や位置がわかる世界の略地図を描いている。</p> | <p>作業の様子 基準となる緯線や経線に注意しながら世界の略地図を描いているかを分析する。</p> | <p>「トレーシングペーパー」 大陸の形をだまかにとらえたり、赤道や本初子午線、日付変更線を基準として6大陸を描いたりするよう助言する。</p> |
| | | <p>細かい海岸線にとらわれないで、大陸の形を三角形などにだまかにとらえて、赤道や本初子午線、大陸と大陸の位置関係に気を付けて描くと、世界地図らしくなった。アフリカ大陸は頭蓋骨に似せて描くように工夫してみた。私は世界遺産に興味があるから、自分で工夫して描いたこの略地図を使って、世界遺産を見学してまわる世界一周旅行を計画しよう。</p> | | | |
| 7・8 世界旅行を企画しよう | <p>世界旅行を企画する活動を通して、世界各国の多様性に関心を持ちながら、世界の国々の名称と位置に慣れ親しみ、国名知識を増やしていくことができる。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 今まで調べてきた中で、行ってみたい国を書き出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">世界一周旅行を企画しよう。</div> 2 各自のテーマを決める。 ・スポーツ観戦ツアー・民族衣装を調べる旅 ・美術館めぐり・グルメツアー ・世界遺産の見学ツアー など 3 自分で世界の略地図を描き、コースやイラストを記入する。 4 企画書を掲示し、互いに交流し合う。 5 覚えた国の名称を白地図上に記入し、学習の成果を確認する。 | <p>《ア-》 世界一周旅行を企画する活動に関心を持って取り組んでいる。</p> <p>《エ-》 世界の主な国々の名称と位置についての知識を身に付けている。</p> | <p>企画書の記述内容 世界の様々な国に対する関心の広まりをとらえる。</p> <p>白地図への記述 世界の主な国の名称と位置についての知識を身に付けている。</p> | <p>「旅行会社のパンフレット」 選んだ国々が6つの州を一周できるように広がって分布するような計画を立てるよう助言する。</p> |
| | | <p>世界一周旅行の計画を立てる活動を通して、世界の略地図を描けるようになったし、新しく50の国の名前と位置を覚えることができた。これからも、テレビのニュースや新聞記事を見て、知らない名前の国や位置が不確かな国に出会ったら、地図帳を使って調べていきたい。私は、まだ日本国内にも行ったことのない都道府県がたくさんあるから、次は日本一周旅行の計画も立ててみたい。</p> | | | |